

H30年4月 沼田学園開園に向けて

～沼田ならではの教育スタイル～

生涯
学習

ゆめ
つくる

○小・中教師力 2つのニーズにより進化！！

一貫・連携教育を進める中で、教職員から2つのニーズが出てきました。それが、沼田独自の新たな教育スタイルの基盤をより確かなものにします。今回は教師力の一貫・連携を紹介します。

ニーズ1 「小・中共通のめざす姿」の必要性

小学校（H26年度研究主題）

「伝え合う学習の工夫」～算数科を通して～「意欲をもって、豊かに伝え合う子ども」

中学校（H26年度研究主題）

「進んで豊かに学ぶ沼田っ子の育成」～よさをのばし、言語活動を大切にした指導の工夫～

「小中でめざす姿が別々だと、一貫・連携の授業が作りづらい」

◎小中共通のめざす姿（研究主題）の設定

「自ら進んで考え、学び合う児童生徒の育成」～アクティブラーニングの学びに注目し、研究を進める～小・中教師が、今まで以上に、「めざす沼田っ子像」、「めざす授業像」を共有し、沼田っ子を育てる目標が一本化し、9年間一貫・連携した授業づくりを進めやすくなりました。

※アクティブラーニング：子ども達の「主体的・対話的で深い学び」を示します。



小6社会アクティブラーニングの様子

ニーズ2 「合同研修の場、組織（いつ？だれが？）」の必要性

(H27年度 6回)

教科グループ

教科外グループ

生活指導グループ

特別支援グループ

「教育振興会4グループが、小中一貫・連携の授業づくり等に合わない」「授業等の検討の組織と時間がない」

(1) 組織の再編成（H29年度）

- Aサークル
- ・文系グループ（国語、社会、外国語）
 - ・理系グループ（算数・数学、理科）
 - ・芸体グループ（音楽、図工・美術、保健体育、技術家庭）
 - ・特別支援グループ
- Bサークル
- ・沼田学グループ・ハローイングリッシュグループ
 - ・生徒指導グループ・養護教諭グループ・事務職員グループ



グループで話し合う小中の教職員

(2) 場の設定（年間14回）一人の教職員が、Aサークル（10回）とBサークル（4回）に所属
質、量とも今まで以上に充実した「沼田ならではの研修体制」が整いました。

～小・中の違いを越えて、教職員同士がつながり、協同して沼田っ子を育てます。ご期待ください。～